

第 20 回 東海村地域公共交通会議

【日 時】	平成 30 年 6 月 28 日(木) 10 時 30 分～11 時 30 分	
【場 所】	東海村産業・情報プラザ 301・302 会議室	
【出席者】	(委 員)	出席 17 名(うち代理 2 人)／欠席 6 名
	(オブザーバー)	出席 1 名

1. 開会(企画経営課)

2. あいさつ

(萩谷副村長)

- ・ 本日は、年度末の大変お忙しい中、第 20 回の東海村地域公共交通会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。
- ・ ロシアで開催されているサッカーのワールドカップが大きな盛り上がりを見せており、改めてスポーツの持つ大きな力、人々を動かす大きな流れを感じているところですが、来年はいよいよ「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。競技によってはプレ大会の開催が既に始まっており、本村においても9月下旬から全日本社会人ホッケー選手権大会の開催が予定されています。国体開催時は、笠松運動公園で行われる総合開閉会式も合わせて、期間中、多くの方々が本村を訪れることになり、様々なおもてなしが検討される中で、移動手段の確保は欠かすことのできない重要な要素であり、ますます本会議の役割が重要であると考えております。
- ・ この会議は、平成 26 年 6 月に前身の委員会から引き継ぐ形で組織したものであり、約4年間で 20 回の会議を開催し、本村の地域公共交通のあり方について検討を重ねてまいりました。その間、住民や利用者へのアンケート調査、事業者等へのヒアリング等を実施するとともに、民間路線バスの可能性について議論してまいりました。その結果、平成 27 年度から路線バスの実証実験、平成 28 年度から実証実験の中からある程度採算性が見込める3路線の本格運行化、そしてこの4月からは、さらに1路線の実証実験を加え、計4路線、1日あたり 61 本もの本数を運行するに至りました。
- ・ またデマンドタクシーにつきましても、この4月から休憩車両の取り扱いを変更するとともに、平日を 30 分延長させ、17:00 便を新設したところであり、着実に利用者が増えている状況がございます。
- ・ これまで検討を重ねてきた地域公共交通網が一つの形となり、着実にステップアップしてきた訳でございますが、これが最終形だとは考えておりません。公共交通を維持・確保するための最大の課題は「採算性」でありますことから、今後も利用状況などを注視するとともに、新たな需要の見定めや要望等に耳を傾けつつ、本会議において皆様のご意見を頂戴しながら協議を重ねてまいりたいと考えております。
- ・ 本日は、公共交通の利用状況や補助事業の活用に伴う計画書の審議などを予定してござい

すので、様々な立場・視点からのご意見をよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

(1) 公共交通の利用状況及び利用傾向の分析について

○下記資料に基づき説明(事務局)

(資料 1) 平成 29 年度 公共交通の輸送実績

(資料 2) デマンドタクシー「あいのりくん」年度別利用実績

(資料 3) 茨城交通(株)路線バス 年度別利用実績

【質疑・意見】

(委員) 海浜公園線や今年度から始まった笠松運動公園循環線については、個人の利用に期待しても伸びないのでは。団体での利用を呼びかけ、計画する必要があるのではないか。

(事務局) 事務局としても、このまま何も手を打たなくて良いとは考えていない。沿線自治会及び笠松運動公園のイベントとの連携を図るなど、更なる利用促進に向けて取り組んでいきたい。

(委員) 笠松運動公園循環線を利用する客層やその目的は集計しているのか。

(事務局) 今後調査を行い、利用者の動向は分析していきたい。地元の学生はバスを利用しない傾向にある。

(委員) 笠松運動公園では、バスの時刻表や運賃を掲示しているのか。

(事務局) 平成 29 年度中に笠松運動公園に話はしているが、改めて確認する。

(委員) 乗り換え案内アプリや Web サービスの提供を考えてみてはどうか。

(事務局) 他の自治体の例なども参考にしていく。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

○下記資料に基づき説明(事務局)

(資料 4) 地域内フィーダー系統確保維持計画

【質疑・意見】

異議なしのため了承

(3) 平成 30 年度の状況及び今後のスケジュールについて(事務局)

○下記資料に基づき説明

(資料 5) 平成 30 年度 公共交通の輸送実績及び今後のスケジュール

【質疑・意見】

(委員) キャンセル対応が課題ということだが、キャンセルを減らすための現状の取り組みや

対応について伺う。

(事務局)キャンセル対応についてはオペレーターと協力しながら行っているところであり、何度もキャンセルが続く利用者の方に対しては、オペレーターから予約の時間が近づいた時に確認の電話を入れている。また、車内に無断キャンセルをやめていただけるように掲示物を設置している。

南台区においては、無断キャンセル防止のためのチラシを独自に作成したとのことで、本日、南台自治会監事である三上委員より説明をいただきたい。

(4)その他

○デマンドタクシー無断キャンセルを防止するための南台自治区の取組みについて

(委員)無断キャンセルをしてしまった方に話を聞くと、「予約したことを忘れてしまった」という回答が約8割を占めていた。難しいことは承知しているが、予約カードを渡すことができれば良いと感じている。

なお、南台自治区では、デマンドタクシーの無断キャンセルを減らすため、キャンセルの際には早めに連絡しようという内容のチラシを作成し全戸配布した。今後も南台区独自の取組みとして、例えば公共交通に係るアンケート調査を実施する予定であり、結果が出たら会議で報告させていただく。

4. 閉会(企画経営課)

- ・ 次回は9月下旬の開催を予定している。日程が決まり次第、通知をする。